

科目 ナンバ	10ES204、 05DS101	対象学科・ コース	福祉情報学部、経済学部	専門・総合・教職	専門科目
				配当学年	1年以上
主 学 科		要 件	選択科目	授業区分	
授 業 科 目 名	コンピュータ概論			担当形態	単独
	Introduction to Computer Science			担当教員	橋本 喜代太
開 講 期	前期	単位数	2単位	オフィスアワー(常勤教員のみ)	

添付ファイル

② 授業方法

■ 講義

□ 演習

□ 実技

□ その他

③ 授業形態

■ 対面

□ ハイフレックス

□ オンライン

□ オンデマンド

④ 授業のテーマ及び到達目標

授業のテーマ：コンピュータの歴史・構造（ネットワークに接続したものを含む）・利活用の概要

到達目標

- コンピュータに関する基本的な知識（歴史・構造）を理解し、その知識を使用の際に活用できる

- 社会の中でコンピュータがどのように活用されているかを知り、その長短所を踏まえた利活用をする基盤となる知識を身に付ける

- 今後のコンピュータ関連科目を学修するのに必須となる計算機科学全体の概要を把握する

⑤ 授業の概要

本講義では、1年前期配当として、今後のすべてのコンピュータ関連科目の基盤となるべきコンピュータの歴史、基本的な仕組み、利活用の基本的な知識を社会的側面も含めて学ぶ。超スマート社会(Society5.0)を迎える現代社会において、コンピュータ、ネットワーク(通信)、AIをはじめとするコンピュータシステムと私たちの社会や生活は密接な関係がある。それらを上手に活用するために、本講義を通じてコンピュータの基本的な知識を得ると同時に、その問題点や危険性も理解し、適切な関わり方を考えていく。

⑥ 対応するディプロマ・ポリシー（専門科目のみ）

- 知識及び技能の習得

■ 思考力・判断力・表現力等の養成

□ 主体性・多様性・協調性の養成

□ 地域貢献に関する意識の醸成

https://www.shunan-u.ac.jp/faculty/diploma_curriculum_policy/

⑦ 教科書

書籍無し

⑧ 参考図書

書籍無し

⑨ 履修上の注意	【先修条件科目 必須】	
	【先修条件科目 推奨】	
	【持参物】	ノート、筆記具、ノートパソコン
	【その他】	

⑩ 評価基準

- 講義内容をどれだけ理解したか

- 講義内容に基づく初歩的な応用ができるか

- コンピュータに関する社会的側面も含めた諸問題を考えるに当たって、どれだけ講義内容を活用できるか

⑪ 学生に対する評価

試験	小テスト	レポート	発表・実技	ポートフォリオ	その他	合計
60%	40%					100%

⑫ 担当教員からのメッセージ（予習・復習内容・時間にも言及）

現代社会では私たちの生活のほとんどあらゆる側面にコンピュータが関係しています。その全体像をつかんで今後の学修・生活に生かしていけるようになりますように。

原則として毎回、30～60分の予習(第1回を除く)と120～150分の復習があり、関連する文章を読むこと(オンラインでPDF配布)とオンデマンドのビデオ視聴による学習(オンラインで提供)を含みます。

内容及び社会情勢に応じて、オンラインまたはオンデマンドで講義がなされることがありますが、事前に通知します。予復習の内容確認も含め、頻繁にWebclass（授業支援システム）を閲覧するよう心掛けてください。

成績は期末試験と2回の小テストによって評価します。

⑬ 授業計画と学習課題

回数	授業の内容	授業方法	担当教員
1	オリエンテーション、現代社会とコンピュータ	講義	橋本 喜代太
2	パソコン、スマートフォンに見られる個人レベルで利用するコンピュータ	講義	橋本 喜代太
3	ビジネスとコンピュータ	講義	橋本 喜代太
4	情報倫理：加害者にも被害者にもならないために	講義	橋本 喜代太
5	コンピュータシステムの歴史	講義	橋本 喜代太
6	情報の表現：デジタルとアナログ	講義	橋本 喜代太
7	〔ハードウェア〕コンピュータの仕組み	講義	橋本 喜代太
8	〔ハードウェア〕ネットワークの仕組み	講義	橋本 喜代太
9	〔ソフトウェア〕OS，アプリケーションソフトウェア，プログラミング	講義	橋本 喜代太
10	〔ソフトウェア〕プログラミングとアルゴリズム	講義	橋本 喜代太
11	〔ソフトウェア〕データとデータベース	講義	橋本 喜代太
12	〔ソフトウェア〕インターネットとクラウドコンピューティング	講義	橋本 喜代太
13	AI，センサーテクノロジー、ロボット	講義	橋本 喜代太
14	情報セキュリティ	講義	橋本 喜代太
15	〔まとめ〕今後のコンピュータの利活用に向けて	講義	橋本 喜代太

⑭ 科目等履修制度

- 科目等履修生(学生以外の一般履修者 若干名)を受け入れてもよい。
- 科目等履修生を受け入れることはできない。

⑮ 実務家教員担当科目に関する記載